

# みづき

2008  
夏号 同窓会通信  
臨時増刊



▲子育てサロン「ぶっぷあ」オープン

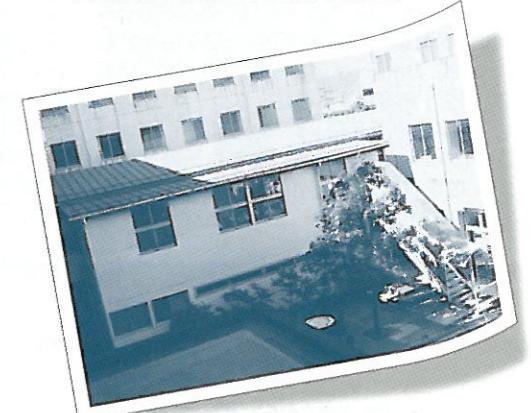
地域に愛される大学創りを目指す本学は、地元大垣市の協力を得ながら、子育て支援施設を6月12日に学内にオープンしました。名前は幼児教育科学生の命名による、子育てサロン「ぶっぷあ」です。オープン初日は80名を超す親子連れで賑わいました。今後幼児教育科を中心にしながら、全学科の連携による協力により、他の子育て支援施設とは違う、本学独自の特色ある施設に成長させていきたいと考えています。卒業生の皆様もぜひお立ち寄りください(第二・第四木曜日10:00~13:00)。

本誌P6に紹介記事がありますのでご覧ください。

C号館跡地からD・E号館を望む



▲建物全部の耐震工事が完了しました。



C号館終わりの日に寄せて

## 巻頭言

## 母校が40周年を迎えます!

大垣女子短期大学

同窓会会长 北村 王子

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度も、皆様と同窓会通信でお逢いすることができますことを大変嬉しく思っています。

先般の岩手・宮城内陸地震では、多数の方が被災されたことを報道で知り、心を痛めています。本会員の方で万一被災されいらっしゃいましたら一日も早く復興されることを願っています。

さて、母校も平成21年には創立40周年を迎え、同窓生も2万3千名余となり各地で活躍されています。卒業生には現在、女子プロボクシングの世界チャンピオン、多数の漫画家の誕生、シンガーソングライターなど各分野において、多くの方が素晴らしい活躍をされています。

母校は、「建学の精神」に基づいて、教

育目標の充実を図り環境整備等に力を入れ、学内施設を開放し、地域の方と広く交流できる環境づくりや四つの学科がそれぞれの専門分野からサポートする「子育てサロン」を開設し、少子化時代の厳しい環境のなか時代のニーズに合わせ、地域社会に開かれた大学づくりを目指しています。

同窓会では、昨年度より多くの卒業生の子女姉妹の方が母校で学んでいただけるように、ファミリー入試や同窓会奨学金制度を設け、一人でも多くの方のお役に立ちたいと考えておりますので、ぜひご利用下さい。

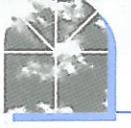
なお、本学の40周年記念事業として、施設・設備の改修が進められており、40歳を迎える校舎・設備が順次リニューアルされております。この事業に学校法人より

同窓会へ寄付金の要望がありました。役員会で協議の上、全同窓生の思い出の深い「講堂」のリニューアルに使途を限定して、皆様方からお預かりしております会費より、母校発展のために改修費を寄附させていただくこととなりました。講堂がリニューアルされた際には、同窓会総会を開催し、新しい「講堂」を皆様にご披露したいと考えております。

役員一同、皆様と再会できますことを楽しみにしております。

暑い夏を迎える季節となりましたが、母校の益々の発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。

**大垣女子短期大学**  
Ogaki Woman's College  
〒503-8554 大垣市西之川町1-109  
TEL 0584-81-8811(代)  
<http://www.ogaki-tandai.ac.jp/>



## 幼児教育科

本学科が3年制の教育課程となってから2回目の入学生を迎えるました。他に先駆けて導入した3年制は、多様な保護者のニーズに基づき、これから社会に求められる体験の積み重ねの中で実践的な指導力を持つ保育者の養成を目指しております。すでにお知らせしておりますとおり、3年間の教育課程におきまして、「保育のスペシャリストの養成」のために、人間性を基盤とした強い使命感の涵養、保育者としての知識や技能の修得、保育の実習・研修等の充実を図っております。

これらの期待に応えて3年制課程の学生たちも、1年生で新たに始まった「保育ボランティア」や保育に関する授業などに取り組むとともに、学科学生全員での新たな「幼児教育合宿」、2年生の12月に実施する一定レベル以上の知識・技能を全員に習得させることを目的とする独自の「保育総合試験」などに努力しております。そして来年度には、大垣市をはじめとする行政機関や保育園との協力を得て、3年生が初めて3ヶ月におよぶ(毎週月～水の3日間)「保育実務研修」を実施する予定となっております。

もちろん、「みずき祭」や「幼児教育祭」、地域でのイベントなどで子どもたちや保護者の皆さん、地域の皆さんに学修成果を発表する活動にも、これまでの先輩に負けないように一生

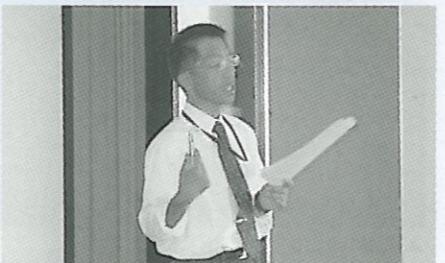
懸命取り組んでいこうと努力しております。また6月には本学に「子育てサロン」が4学科のサポートにより開設され、地域に貢献するとともに、今後ますます重要となる子育て支援についての実際を、学生がしっかりと学んでいくことを期待されています。

ところで皆さんもご存じのように、本年の3月に小学校との円滑な接続・生活経験に配慮した指導・子育て支援の具体化等を柱として幼稚園教育要領が改訂されました。これと同時に、一層確実な整合性を持たせながら保育所保育指針も改訂・告示化され、保育所の役割の明確化・保育の内容の改善・保護者支援・保育の質を高める仕組み等の柱が示されています。いずれも平成21年4月から施行されますが、こうした動きからも、ますます高度化し幅広い実践力を持った保育者の養成が求められており、私たち教職員も3年制の教育課程を生かしながら一層努力して参りたいと考えております。

また本年4月からは、本学科卒業生の永田恵実子講師も着任し、乳児教育を中心にして学生への教育や保育の研究が一層充実できることが期待しております。このように、これからは保育者養成の充実には、学生相互・学生と教職員が人間的なつながりを大切にしていくこと

はもちろん、卒業された皆さまと後輩に当たる学生とのつながりもたいへん重要なものとなります。学生たちを育していくためには、保育者として・社会人として・女性としての先輩のお立場から、皆さま方の優しく時に厳しくご意見やご援助をいただくことが必要不可欠であると考えておりますので、今後ともご指導やご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

学科長 矢田貝 真一



## 音楽総合科

卒業生の皆さん、お元気でしょうか?

開学40周年を迎えるとしている本学ですが、当初はバスでいっぱいだったB号館の前も今では「みずきの郷」として多くの自然を与えてくれます。例えば、夏には木々の緑が私たちに安らぎを、冬には葉を落とした木の間から見える電線にさわいで止まっている数十羽の雀、まるで「音楽を聴きに来たよ」という感じで、皆の練習にも力が入り、とてもすてきな光景です。

音楽科としての歴史も長く、教員の顔ぶれはすっかり変わり、今では懐かしい弦楽合奏のこと等を学内で知っている人は数少なくなってしまいました。いろいろな過程を経て現在の音楽総合科となりましたが、これも時代の変化に対応し、音楽を発展させていくためでもありました。お陰様で今は定員100名のところ114名の学生があります。

景色もよく、まだ5年目となる音楽棟はきれいで恵まれた環境の下、日々勉学・練習に励み、明るく元気に過ごしております。本学の卒業生が先生という学生、卒業生のお子さんという場合も結構あり、皆さんご活躍、母校へのご協力によって今現在があることに深く感謝し、御礼申し上げます。

さて今年度は改革の年でもあります。平成

19年度からは、ピアノ、電子オルガン、ウインドアンサンブル、音楽療法の4コースに加えて2コース選択履修制を設けました。このコースは、一年次には各自が選択した2コースの科目を履修し一年かけて考え、二年次からは一つのコースで履修するという制度です。平成21年からは、ピアノと電子オルガンを一つにし「ピアノ・電子オルガンコース」となります。入学試験ではどちらかで受験し、入学後は2年間ピアノ、電子オルガン両方のレッスンを受講します。

ピアノを勉強してきた人は電子オルガン、電子オルガンの人はピアノがはじめてという場合も考慮し、それぞれのレベルに合わせた個人

レッスンを行います。2つの楽器の演奏ができるようになることによって、将来音楽関連の就職には有用であると思われます。このコースの教育課程の改革はもちろんですが、他コースも今一度新しい気持ちで考え方を実用的・魅力的な授業の多い音楽総合科にしていきたいと、また音楽科から始まった音楽総合科を未来に向けて大きく発展させていきたいと教員一同頑張っております。

卒業生の皆さんには今後とも深い理解とご協力をいただき、アドバイス等も頂戴しながら、本学の良さを広く社会にアピールしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。お近くにおいての折には是非母校にお寄り下さい。皆さんのご健康とご活躍をご心から祈っております。

学科長 大熊 紀子



## DESIGN デザイン美術科

今年もまた学内の川辺の桜とともに、新鮮な一年生を迎えることから始まりました。4月は学生のみならず、職員にとっても心躍る季節です。本年は3年ぶりに定員を超える入学者がありました。地方短大で、しかも美術という決して進学層が厚いとは言えない分野で、50人から80人定員になった平成4年以降平均90人近い入学者に恵まれていることに、職員一同心より感謝の念を抱いています。自然に培われて来た在校生の気風、有形無形の同窓生の温かいご支援ごそが、まちがいなく本科の現在と将来の展望を明るくしているものです。引き続き、愛情をもって科と本学を見つめて頂きたいたいと思います。

時折り同窓生の活躍を目や耳にすることがあります。創作活動の他、社会でかつての学習が一片でも生かせられたとしたら、職員としてこれに勝る喜びはありません。

この5月、多くの招待券の入った1通の封書が本学宛に届きました。1期生の方の主宰される会社で「あらいぐまのラスカル展(愛知県・岡崎子ども美術館)」を企画したと言う内容でした。学生には真っ先に紹介しました。今年度の入学者が38期生ですから、この間多くの卒業生が卒業したことを思えば、お手紙には特別に感懷深いものがあります。長く猫の切り絵で

全国的に活躍されていらっしゃる方もいます。紹介し切れませんが他にも個展、グループ展のDMを学校宛に頂いています。

マンガを学んだ仲間からは、優に20人を超えるマンガ家が生まれたようです。コミック本の出版もいよいよ日常的になったかと思われる程です。卒業生の作品「君に光を(別冊フレンド掲載)」が映画化へと発展したことはユニークなニュースと言えましょう。戸田恵梨香、加藤和樹出演「恋極星」の封切りは今冬が予定されています。原作者が同窓生であると知ればまた関心の深さが異なりますね。一昨年暮、2年に渡るスロバキア留学から帰国された同

窓生に授業の一環として外国での体験、美術事情等を紹介して貰ったこともあります。学生にとっては新鮮な映像とお話を連続でした。

日々の授業では、毎年何らかの形でカリキュラムの改訂を行っています。皆さんの在学時科目が今も健在かどうか、ホームページでご覧になってみて下さい。昨年の公開授業にはモンキーパンチ氏が、今年は6月にちばてつや氏が来校されました。

職員一同、同窓生諸氏に恥じない、皆様にとってより誇らしい母校を作る為に研鑽していきたいと願っています。今後とも何卒、ご協力とお力添えを賜りたく思います。

学科長 松本英三

▼ マンガ講座 ちばてつや先生



歯科衛生士に期待されるものはさらに大きく、その期待に応えられる歯科衛生士を育成していきたいと思っております。魅力ある歯科衛生士の仕事を一人でも多くの方々にアピールし、歯科衛生士養成につなげていく、そのためには卒業生の皆さまの声を、今まで以上にこれから教育に活かしていきたいと思います。どうぞご支援と協力をよろしくお願いいたします。

准教授 関谷 智子

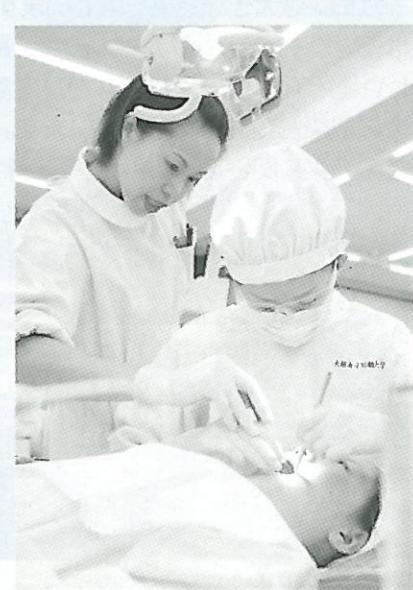
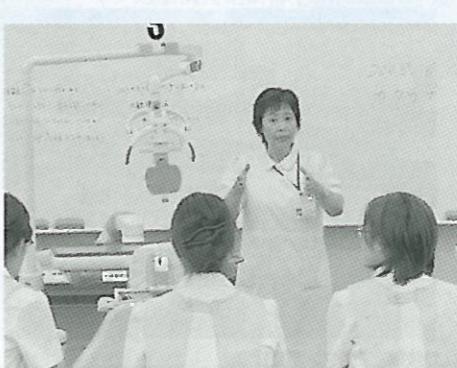
## 歯科衛生科

平成15年度より歯科衛生士教育3年制をスタートして3期目の卒業生74名が、今年3月、全員歯科衛生士試験(国家試験)に合格し、歯科衛生士としての第1歩を踏み出しました。皆さんもご存知のとおり、本学は、全国にある歯科衛生士養成校の中でも5番目の早さで、修業年限を3年にしました(平成22年には、歯科衛生士教育は3年以上になります)。現在、歯科衛生士が口腔疾患に対する予防や管理に果たす役割はますます大きくなり、歯科衛生士の活躍の場も歯科医院の他に、総合病院や社会福祉施設、保健センターなど広がりをみせています。本学の卒業生の中にも、そのような歯科医院以外で活躍する歯科衛生士が年々増えています。そのためにも、授業では臨床医学や看護といった全身の医学知識が修得できる科目構成にしています。また、3年制開始とともに歯科医院実習の実習地を岐阜県はもとより、隣県の愛知、三重、滋賀に広げ、実習指導をお願いしていますが、実習先を訪問すると、多くの本学卒業生に出会う機会があります。

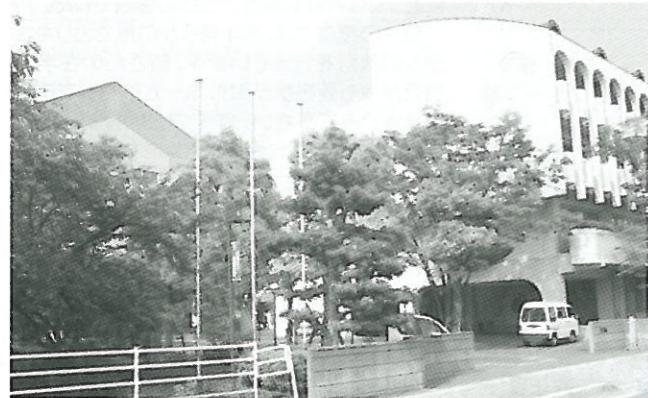
卒業後ずっと歯科衛生士を続けている方や、一度離職してまた働き始めた方など様々な環境の中で、歯科衛生士として繋がってくださっていることが嬉しく、そういう方々に、学生指導していただけることは大変心強く有難く

思います。特に歯科臨床では、専門性の高い歯周管理やメインテナンスができる歯科衛生士が求められています。臨床現場の歯科衛生士の方々の生きた指導は、実習生にとって何よりのエールです。これからも後輩への指導、よろしくお願いいたします。

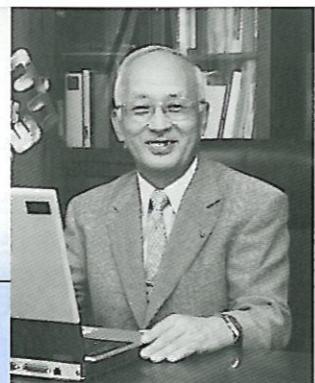
ただ、残念なことに、全国の歯科衛生士養成校において57%の学校が定員割れを起こしている状況で、受験者数の減少や、入学者数の定員割れは、本学も避けて通ることのできない問題です。平成20年度には、新たに高齢者医療制度および高齢者の医療を確保する法律に基づく特定健診・特定保健指導が始まり、



# 地域で存在感を示す 大垣女子短期大学



大垣女子短期大学  
学長 中野 哲



歴史の町、文化の町として有名な岐阜県西濃にある水の都、大垣市に本学が誕生して来年は40周年を迎えます。日本での時代の流れに即応しながら発展してきた本学は現在、4学科からなっており、チャーミングキャンパス(CHARM ing Campus)と名付けられた明るく、クリーンな学園で約600名近くの学生が楽しく学んでいます。本学の特徴は全館禁煙、環境の国際規格ISO14001の取得、短期大学第三者評価による適格認定、全館耐震工事完成などにみられるように、多くの教育機関がこれから取得しようとする数々の事柄をすべてクリアしている清潔で、安全な環境を既に完備していることです。また、本学の教育基本理念の4本柱の中の環境重視教育、地域に貢献する教育の2本柱の重要性が益々増大し、その活躍が認められてきています。昨年の6月には本学の地域清掃などの地域活動に関する取り組みに対して岐阜県の関係団体から表彰を受け、10月には本学と大垣市が相互に発展するための連携・協力を謳った協定書が締結されています。この協定の中で子育ておよび人材養成に関しては、本学の幼児教育祭はすでに定番となり地域に大きな影響を与え、先日は教育機関内に初めてできた子育てサロンは大きな成果を得ています。地域振興に関しては既にウインドアンサンブルの大活躍、いろいろなイベントや場所での似顔絵描きなどが定着し、すっかり地域社会に馴染んだものになっています。保健、医療および福祉の充実に関しては、長い歴史を持つ大垣歯科医師会と

の協賛による歯の健康フェスティバルでの歯磨き指導で実績を挙げ、先日は口腔感染と全身疾患のシンポジウムを本学で主催し、医師、歯科医師、歯科衛生士とともに討論が行われ、口腔疾患と糖尿病などの全身疾患との関係が広く市民に知られるようになっています。このようにして近年は幼児教育科、歯科衛生科、音楽総合科、デザイン美術科という4学科を持つ本学は地域の存在感を益々深めているように思われます。

近年の経済市場主義が蔓延している中で、本学は「自律性を持った品性のある人間の育成」を教育理念としており、各科での専門知識や技術の修得以外に一般教養を重視し、健全な人間性を育む課外活動を奨励し、藤原正彦のいう教養主義を教育の中心においております。

卒業生の方々、是非一度本学を訪ねてみて下さい。若い女性が自然一杯の環境で、明るい朝の挨拶に始まって如何に楽しいキャンパスライフを楽しんでいるかを見てほしいと思います。

## 大垣市との包括協定締結

平成19年10月3日、本学中野学長と大垣市小川市長との間で、各種事業を協力して推進しようとの理念のもと包括協定が締結されました。本学の4つの学科の特色を生かし、「子育て」「保健」「音楽」「デザイン」の分野で地域の活性化・振興に寄与する各種事業が展開していくことになります。

地域に愛され、期待される学校づくりが、これにより一層促進されることになります。



B号館 2階練習室



D号館 2階マンガ実習室



G号館 1階歯科臨床実習室

# 平成20年度 これからの中大各種イベント・行事のご案内

## ○公開講座・授業 (問い合わせ先:図書館生涯学習係 TEL:0584-81-6889)

### ★第1回口腔疾患シンポジウム 7月6日(日)10:00~12:00 中野 哲学長・石川隆義先生

久本たき子先生ほか大垣市民病院他の先生方

7月7日・14日(月)9:00~10:30 清水 進先生

### ★郷土の歴史と文化

#### ★親子で楽しむ

親子でつくろう

親子でクレイアニメを作ろう

親子で音楽あそび

#### ★水彩画を楽しむ

#### ★心身の健康づくり

8月23日(土)・24日(日)10:00~12:00 有岡登美先生

8月26日(火)・27日(水)10:00~12:00 渡辺浩行先生

9月7日(日)10:00~11:30 光井恵子先生

9月25日~10月9日(木)13:00~14:30 黒田 皇先生

10月15日~11月19日(水)(全5回)10:40~12:10

中野 哲学長・茂木七香先生・居崎時江先生・久本たき子先生

## ○地域での各種イベント (問い合わせ先:図書館生涯学習係 TEL:0584-81-6889)

まだ予定の段階の企画もあります。時期が近づいてきましたら、本学のホームページ等で必ず内容をご確認下さい。

### ★SUMMER FESTIVAL 7月13日(日)13:00~16:00 ロックシティ大垣SC

4学科がそれぞれの特色を生かした発表を行います。夏祭りの雰囲気をお楽しみ下さい。

### ★ポートレート展 7月25日(金)~8月6日(水)アクアウォーク大垣SC

デザイン美術科2年生72人の自画像を展示します。

### ★大垣市十万石ふる里まつり 10月12日(日)14:00~16:00(予定) 大垣駅前通

例年「みこし」「ウインドアンサンブル」「和太鼓」のパレードとともに「みずき祭」をアピールします。元気な学生の姿をぜひご覧下さい。

### ★クリスマスイベント 12月中旬 大垣市内ショッピングセンター

クリスマスの時期に演奏会やイベントを実施する予定です。

### ★マンガ展 2月中旬 大垣市内ショッピングセンター

マンガ家としてデビューした卒業生も20人を超え、在学生の作品とともに展示する予定です。

## 2007みずき祭



## ○みずき祭 (問い合わせ先:学務課 TEL:0584-81-6817)

### テーマ「響～HIBIKI～」 10月26日(日)10:00~14:30 本学

学科・クラス・クラブの企画を中心に、市民の皆様に喜んでいただける一日となるよう学友会が中心となって頑張ります。

## ○各学科の行事 (問い合わせ先:学務課 TEL:0584-81-6817)

### ◆幼児教育科

合宿 7月31日(木)~8月1日(金)

第5回幼児教育祭

1月25日(日)10:00~15:00(予定)

### ◆音楽総合科

定期演奏会

10月13日(祝)13:30~15:30(予定)

スイトピアセンター音楽堂

ウインドアンサンブルフェスティバル

1月24日(土)14:00~16:00

スイトピアセンター文化ホール

音楽療法コース卒業研究発表

1月29日(木)13:00~14:30

本学多目的ホール

卒業演奏会

2月11日(祝)13:30~15:30(予定)

スイトピアセンター音楽堂

### ◆デザイン美術科

学外研修

【多治見市セラミックパークMINO・伊吹山草花スケッチ】

8月3日(日)~4日(月)

【関西 古美術鑑賞】11月2日(日)

マンガ原稿持込研修【東京出版社等】

9月2日(火)~4日(木)

卒業記念展

2月2日(月)~8日(日)

岐阜県美術館

### ◆歯科衛生科

研修旅行【関西歯科工場見学等】

9月17日(水)~18日(木)

卒業研究発表 9月25日(木)

13:00~14:30 G401

決意を語る会 11月19日(水)

13:30~14:30 本学多目的ホール

# 最近の動向

## 子育てサロン「ふっぷあ」開設に寄せて



図書・生涯学習委員長 役田 亨  
(幼児教育科 教授)

大垣女子短期大学ではより地域に愛される大学に向けて取り組みを進めています。このたび、子育て中の保護者の方のお力になればとH号館1階の教室を改装して「子育てサロン」を開くことになりました。開設にあたり学生から「子育てサロン」にふさわしい名前を募集しました。全科からかわいらしいもの、楽しいもの、面白いものなど学生らしいユニークな名前がたくさん寄せられました。悩みをいた審査の結果「ふっぷあ」と決まりました。

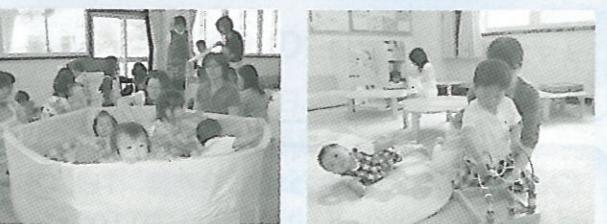
「子育てサロン」は…地域で子育て中の保護者と子どもたちに利用してもらいたい、自由に交流しながら楽しく過ごしてもらう場所です。子育ての情報を交換したり、お互いに子育ての悩みを話したり、子育てに関する話を聞くなど、少しでも楽しく、元気に子育てしてもらうための応援をする場所です。次世代育成支援として社会全体で子どもの育ちや子育て家庭を支援する取り組みが必要とされている中で、子育てサロンはいろいろな場所でおこなわれるようになりましたが、幼児教育・音楽総合・デザイン美術・歯科衛生の4つの科を持つ本学の特徴を生かした楽しい企画も考えています。特に幼児教育科は保育技術演習などの授業で学んだ絵本の読み聞かせや、紙芝居、ペーパーサー、人形劇などを実際にお母さんや子どもたちの前で発表することは実習や就職にむけて大変良い勉強の機会となります。また、ほとんどの学生は将来、家庭の中で母親として子育てをすることになります。在学中に子育て支援の活動に参加することは次の子育て世代として子育てや家庭のありかたについて学ぶことが多いものと考えます。

子育てでは喜びもたくさんありますが、あれこれと迷うことや悩みも多いものです。「子育てサロン」では子育てや健康に関する相談にも応じてゆきます。相談の内容により関係する分野の教員が相談に応じてゆく予定となっています。

「子育てサロン」を開設することで、これまで以上に地域の人たちが大学に訪れてもらうことになります。このことは地域に根ざし、地域に愛される大学を目指す本学にとって地域に開かれた窓口と捉えることが出来ます。この窓口を有効に活用、発展させ、学生の教育活動や大学の教育的機能を地域に向けて発信してゆくことが出来ればと考えています。

卒業生の皆様も機会があればぜひお気軽にご利用ください。

「子育てサロン」オープン 平成20年6月12日(木)  
開設日時：毎月第2、第4木曜日10:00～13:00  
場 所：大垣女子短期大学 H号館 1階(H102)  
大垣市西之川町1丁目109番地  
電話 0584-81-6889  
保険料として200円を徴収させていただきます。  
(8月は大学夏休みのためお休みさせていただきます)  
駐車場に限りがあります。なるべく車でのお越しは乗り合わせをお願いいたします。



## C号館の終わりの日に寄せて

副理事長 志知 育

鉄骨造アラメキ鋼板葺二階建 これはC号館登記簿上の正式名称です。

昭和43年(本学開設前年)の着工ですから、約40年の歴史を持つ、本学では一番古い建物です。同時代の校舎、鉄筋コンクリート造りの旧A号館・旧B号館が早々と姿を消した現在、鉄骨造でありながら一番長く「縁の下の力持ち」のように地味ではあるが、それぞれの時代に大事な役目を果たして、ついに昨年姿を消したC号館!!

C号館の誕生から同じ時代を本学で歩んできた私は、感慨無量で、いよいよ姿を消す日には、つい「長い間ご苦労様でした。ありがとうございました。」とつぶやいておりました。

C号館は、本学が幼児教育科のみの単科短大でスタートした昭和44年に、当時の文部省から申請時の必修科目「小児栄養学」乳児食・育児食の調理実習室を必ず設置することという指導により、絶対に必要な施設として造られました。

昭和45年頃は、その二階が「学生の喫茶、食堂」でした。一階・二階共に食に関する施設のため、保健所の許可を受けるに当たり、工事やり直しを命ぜられる程厳しく、一方では文部省の設置認可の時期との係わりで大変な苦労の末に完成した校舎でもありました。

幼児教育科の卒業生を始め、多くの卒業生の皆さんにも、C号館について調理実習等の思い出が残っていることと思います。

平成の始まりになって、A号館建て替えの時期には、C号館が仮の管理棟(大学事務局棟)として活躍してくれました。

その後のC号館は、年に一度「みずき祭」の時だけ一番輝いて活躍してくれたこと、これは近年の卒業生の皆さんが一番よく知っています。

最後にもう一度言わせて下さい。「本当に長い間ありがとうございましたC号館!!」

# 活躍する卒業生

## 短大時代のあの気持ちを忘れずに。



デザイン美術科卒業生 ミツヤオミ

2008年3月26日付の日刊スポーツとスポーツニッポンで、本学デザイン美術科卒業生ミツヤオミさん原作の作品の映画化が発表されました。

### <ミツヤオミさんからのメッセージ>

今回の私の描いた過去作品の映画化の件についてはまるで夢を見ているみたいで、いつハッとする夢から目覚めてしまうのかと日々冷や冷やしていました。

新聞にも報じてもらえて、やっとこれは現実なのかもしれない…と思い始めることができました。それほどこの話は私にとってありえない奇跡で、見つけてくださったプロデューサーの方をはじめ関係者の方々には本当に心の底から感謝しています。誰も見てくれてないようで自分の知らない何処かで誰かが見てくれているんだということに凄く勇気を頂きました。

大垣女子短期大学にいる頃から漫画のことで一喜一憂していた私は、デザイン美術科の先生方に時に泣きつき、常に励まされ大変お世話になっていました。それは、今も変わらないのですが…。

私のペンネームの「ミツヤオミ」は短大時代、下宿していたアパートがあつた「大垣市三津屋町」という町名からとったものです。この先、どこにいても短大時代のあの気持ちを忘れないように思いながら付けました。

今回一番嬉しかったのは、そんな思い出いっぱいの短大に映画化のことを報告出来たことかもしれません。先生方は、自分のことのように嬉しいって喜んでくださって、本当にうれしく思います。ありがとうございます。これからも嬉しい報告が出来るように頑張りたいと思います。



## 大垣女子短期大学に帰ってきました。

幼児教育科 講師 永田恵実子

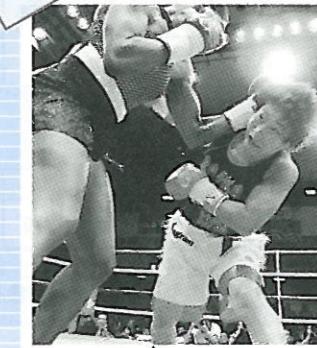
本学の幼児教育科を卒業後、保育者をしていましたが、子どもと関わることが本格的に面白くなったのは、出産と育児を経験してからです。ダイヤモンドの如くキラキラと輝いていて自然に抱きしめたくなる「かわいい…」。「この子をどうみたら、この子がこの子らしくいきいきと成長発達できるのだろう?」そんな思いをもって4年制大学に進学しました。そこで重い障害のある子どもたちとその親たちに出会い、生きかた、育ち、人との関わりの大切さをひしひしと肌で感じたのです。

発達援助をもっと専門的に学びたいと大学院に進みました。援助者が子どもを願う姿に変えようとう教え込むではなく、子どもとの心の繋がりを大切にし、子どもに現れて欲しいことを先に繰り返しやってみせることが基本だということ。そして、子どもを一人の人格と認める重要な学びました。幸運にも、新設の病児保育園に勤務しながら勉学に勤めました。修了後、米原市の児童クラブと保育園で臨床発達心理士、新潟市の保育系専門学校で専任教員、磐田市の保育園園長に、そして今に至ります。

最近では、保育事業が幅広く捉えられ、保育者が様々な場所で活躍できるようになりました。後進たちには、どの場所を選択しても、「その子がその子らしくいきいきと成長発達できる援助を研鑽すること」を目指します。

後進たちが社会貢献できますよう、どうぞ温かいご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

歯科衛生科卒業生 風神ライカ



女子プロボクシング  
JBC 初の公認試合

日本ボクシングコミッショナー認定による初の公認試合が、2008年11月19日、東京都江東区で開催されました。選手は、大垣女子短大卒の風神ライカ選手と、男子ボクサーの吉澤洋輔選手です。試合は、約4分半で吉澤選手が判定勝利となりました。

▲中日新聞 平成20年5月10日

## 歯科衛生士の皆様へ

### 在宅(非就業)歯科衛生士研修会

- 期日：平成20年10月16日(木)・11月13日(木)  
12:30～15:30
- 会場：岐阜県歯科医師会館(10/16・11/13とも)  
セラピア土岐(10/16のみ)

詳細は岐阜県歯科医師会まで  
おたずね下さい。  
☎(058)274-6116



## オープンキャンパス・入学試験のお知らせ

### 2008オープンキャンパス日程

オープンキャンパス	キャンパス見学会(予約制)
各日10:00スタート	9月27日(土) 12月13日(土)
7月27日(日) 9月13日(土)	9月28日(日) 12月14日(日)
8月 9日(土) 10月26日(日)	10月5日(日)
8月24日(日)	※時間は応相談

※9月はミニオープンキャンパス(半日開催)

※10月は大学祭と同時開催

■オープンキャンパス・入学試験に関するお問い合わせ先  
入試広報課  
TEL 0584-81-6819  
FAX 0584-81-6818  
E-mail:info@ogaki-tandai.ac.jp

#### イベント内容

オープンキャンパス	学科説明・キャンパス見学・模擬授業・体験実習・実技指導・ワンポイントアドバイス・ランチタイム・相談コーナーなど(10月を除く)
ミニオープンキャンパス キャンパス見学会	学科説明・キャンパス見学・ミニ授業・体験実習・相談コーナーなど 学科説明・キャンパス見学・個別相談など

### 入学試験日程

入試区分		願書受付期間	試験日	合格発表
推薦入試	指定校推薦入試	普通科推薦 専門学科・総合学科推薦	専願	平成20年10月14日(火) ～10月30日(木)
	推薦入試第一次 ※特別奨学生選抜含	公募推薦	専願 併願	
		専門学科・総合学科推薦	専願	
		自己推薦	専願	
	推薦入試第二次	公募推薦	専願 併願	
		専門学科・総合学科推薦	専願	
一般入試	自己推薦		専願	11月5日(水) 11月8日(土)
	一般入試第一次 ※特別奨学生選抜含	公募推薦	専願 併願	平成20年11月17日(月) ～12月3日(水)
		専門学科・総合学科推薦	専願	12月9日(火) 12月13日(土)
一般入試	一般入試第二次	自己推薦	専願	2月 3日(火) 2月 7日(土)
	一般入試第三次	公募推薦	併願	平成21年2月10日(火)～2月24日(火)
		専門学科・総合学科推薦	専願	2月27日(金) 3月 3日(火)
一般入試	一般入試第三次	自己推薦	専願	平成21年3月 5日(木)～3月13日(金)
		公募推薦	併願	3月17日(火) 3月18日(水)
		専門学科・総合学科推薦	専願	

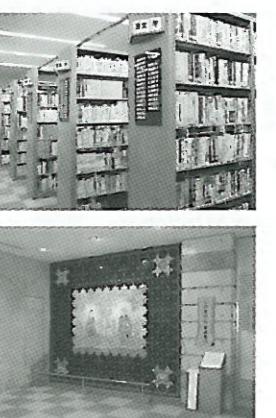
検定料 30,000円

### 同窓生ファミリー入試

入試区分	願書受付期間	試験日	合格発表
同窓生ファミリー入試	専願 平成20年10月14日(火)～10月30日(木)	11月5日(水)	11月8日(土)

#### 同窓生ファミリー入試の特典

1. 検定料 20,000円
2. 入学後、申請に基づき10万円を給付します。(入学年度のみ)
3. 同窓生ファミリーを対象とした奨学金制度があります。(全ての入試区分を対象とする)



**適格・安心・安全・快適  
大垣女子短期大学**

- ◆(財) 短期大学基準協会による第三者評価が始まった初年度の平成17年度、全ての評価領域において「適格」認定。
- ◆平成19年度、全ての校舎、耐震補強完了。
- ◆平成14年度岐阜県内の高等教育機関では初めて環境保全の国際規格 ISO14001認証取得。
- ◆平成14年度から学内外全面禁煙。

マスコットキャラクター みづっさー

**大垣女子短期大学通信  
みづき**

2008  
夏号

同窓会通信

発行日 平成20年7月1日  
編集 広報委員会  
発行 大垣女子短期大学  
〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109  
TEL (0584) 81-6811(代)  
FAX (0584) 81-6818  
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp